

第1回学校評価アンケートの集計結果について



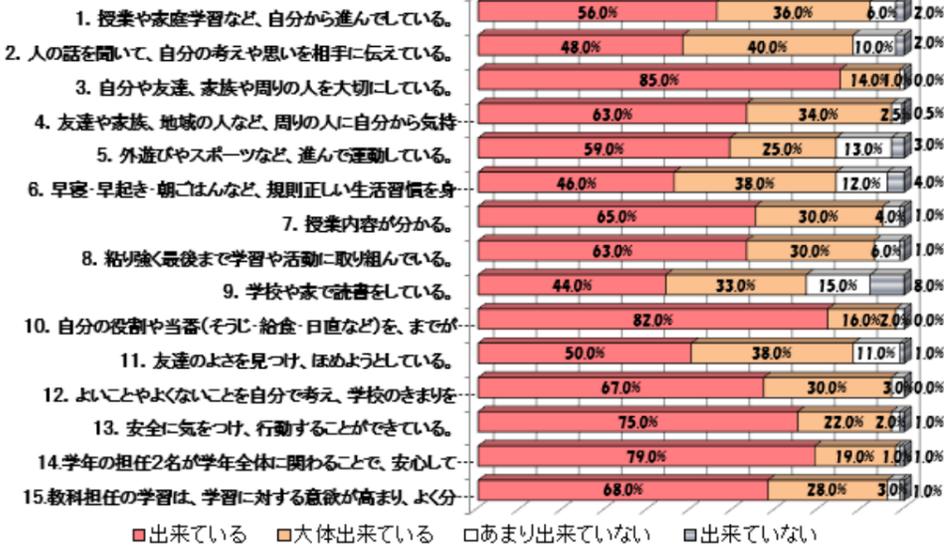
少しずつ秋を感じられる季節になりました。平素は本校教育活動の推進にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、遅くなりましたが7月に実施した第1回学校評価アンケートの結果をご報告いたします。例年通り、3校(花山中・鏡山小・綾ヶ岡小)で統一した項目(1~6)と、本校の学校教育目標に照らして学習面や生活面を振り返る項目の結果で様子を見ていきます。また、昨年度より学校評価アンケートに追加した2項目についての結果についてもお伝えします。「10月臨時号」では主に現況や前回(昨年度12月)の結果との比較、今後の方向性等についてお伝えしたいと考えております。また、保護者アンケートの記述欄には、貴重なご意見を多数いただきました。お忙しい中、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。

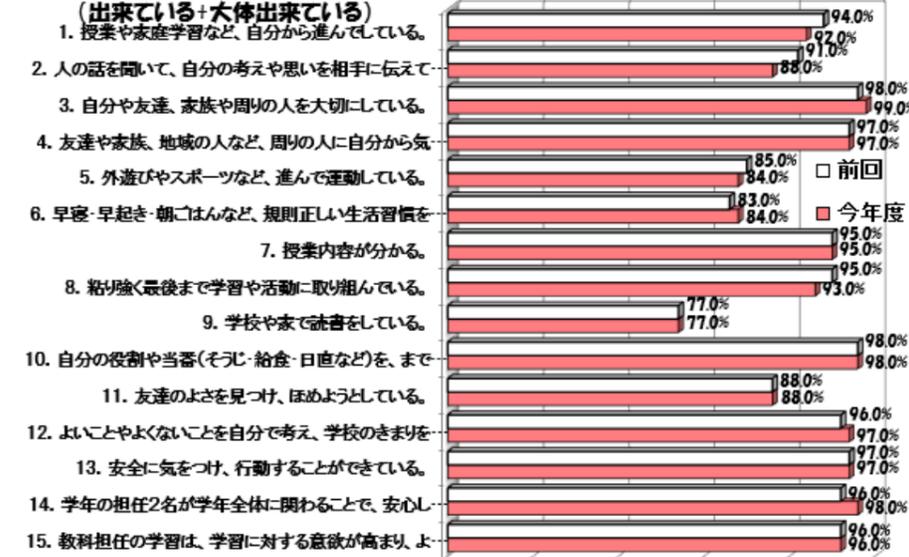
学校教育目標

自ら探究し、つながり合い、未来を拓く綾ヶ岡の子
 ~探究力・人間力・自分力(3Motto)を育む綾ヶ岡教育の創造~

令和7年度 第1回 児童



前回(昨年度12月)と今年度7月の比較



令和7年度 第1回 低学年と高学年



☆児童全体のアンケート結果より

前回12月・今回7月に調査した児童全体の結果で「出来ている」「大体出来ている」の割合が共通して9割を超える項目は、以下の10項目です。

- ・「1. 学習に自分から進んで取り組んでいる」92.0% (前回比-2.0%)
- ・「3. 自分や友達、家族や周りの人を大切にしている」99.0% (前回比+1.0%)
- ・「4. 挨拶、謝罪、感謝の言葉が言える」97.0% (前回比±0%)
- ・「7. 授業内容がよく分かる」95.0% (前回比±0%)
- ・「8. 粘り強く最後まで取り組む」93.0% (前回比-2.0%)
- ・「10. 役割や当番を最後までがんばる」98.0% (前回比±0%)
- ・「12. 善悪の判断、きまりを守る」97.0% (前回比+1.0%)
- ・「13. 安全に気をつけて行動する」97.0% (前回比±0%)
- ・「14. 学年の担任2名が全体に関わることで安心するか」98.0% (前回比+2.0%)
- ・「15. 教科担任の学習で、意欲が高まっている」96.0% (前回比±0%)

15項目中10項目が9割を超えていることは本校児童の強みやよさであり、学校生活を主体的に過ごしている児童が多いと考えられます。しかし、前回より「2. 話を聞く」と「11. 友達のをよさをみつける」の2項目が9割を下回りました。

一方、8割を切ったのが、下記項目です。

- ・「9. 学校や家で読書をしている」77.0% (前回比±0%)

前回と同じ値の結果となりました。今後も様々なものがデジタル化されるからこそ、一定の分量の文章を読み解く力は、これからの社会を生きる児童に欠かせない資質・能力です。児童を読書の世界へと誘う工夫が一層求められます。

「2. 話を聞き、考えや思いを伝える」は次のように推移しています。

R5年度① R5年度② R6年度① R6年度② R7年度①
 87.5% ⇒ 87.0% ⇒ 93.0% ⇒ 88.0% ⇒ 88.0%

学習指導要領の定める「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る上でも「対話力」の向上は欠かせません。言語活動を通じた指導を重ねる中で、相手の話を聞いて、どの児童も臆することなく自分の考えや思いを伝える姿勢を育むよう、今後も工夫が求められます。

☆低学年と高学年の比較

*低学年と高学年共に数値が9割を超える項目

- ・「1. 学習に自分から進んで取り組んでいる」低：93.0% 高：90.0%
- ・「2. 話を聞いて、自分の考えを相手に伝えている」低：90.0% 高：88.0%
- ・「3. 自分や友達、家族等を大切にしている」低：99.0% 高：98.0%
- ・「4. 挨拶、謝罪、感謝の言葉を言う」低：96.0% 高：97.0%
- ・「7. 授業内容が、分かる」低：94.0% 高：95.0%
- ・「8. 粘り強く最後まで取り組む」低：97.0% 高：89.0%
- ・「10. 役割や当番を最後までがんばる」低：98.0% 高：98.0%
- ・「12. 善悪の判断、きまりを守る」低：98.0% 高：96.0%
- ・「13. 安全に気を付けて行動する」低：98.0% 高：95.0%
- ・「14. 学年の2名が全体に関わることで安心するか」低：99.0% 高：99.0%
- ・「15. 教科担任の学習で、意欲が高まっている」高：96.0% (3年生以上)

本校は「探究力・人間力・自分力」を育みたい資質・能力として設定しています。「1. 進んで自分から学習に取り組んでいる」から、探究力が安定して向上していることが分かります。「3. 自分や周りの人を大切にしている」「4. 相手へ自分から声かけができる」はまさに「人間関係を形成する力」即ち「人間力」であり、これらがいずれも高いことは「誇るべき児童の姿」と言えるでしょう。

また、「10. 役割や当番を最後までがんばる」「12. 善悪の判断・きまりを守る」「13. 安全に行動する」ことは、集団生活の中で自分を律し、自己管理ができることを示唆しています。こうした「自分力」に関わる項目についても、肯定的に自身を見つめる児童の姿を頼もしく感じます。

*低学年と高学年いずれかの数値が9割を切る項目

- ・「5. 外遊びやスポーツなど進んで運動」低：83.0% 高：84.0%
- ・「6. 早寝・早起き・朝ごはん」低：88.0% 高：80.0%
- ・「9. 学校や家で読書」低：83.0% 高：71.0%

高学年は、休み時間に委員会活動などの役割があったり、放課後習い事が忙しくなったりし、運動や規則正しい生活が難しくなりがちです。一方で、学齢期の児童が心身共に健やかに学校生活を送るためには、適度な運動に加え、「早寝・早起き・朝ごはん」は欠かせません。学校・家庭それぞれにできることを工夫し、その時間を確保できればと思いますので、今後ともご協力いただければ幸いです。

読書については、前回と同じ値の結果となりました。引き続き、児童が本を読みたくなるような雰囲気づくり、短時間でも本を手にする時間の確保、読後の楽しさを共有しあえる交流の場などの設定を工夫し、本好きな児童が増えてくれることに期待します。

よさや課題は個人や発達段階に応じて異なります。本校の傾向を把握した上で、お家でのお声かけ等の参考にいただければ幸いです。

令和7年度全国学力・学習状況調査結果

4月に、6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について結果がまとまりました。本調査は、国語科、算数科、理科の3教科のテストと同時に、主体的・対話的で深い学びや個別最適な学び、挑戦心・自己有用感に関する調査も実施されました。調査の結果から、本校の児童の状況をお伝えします。

○国語科の結果より(概要)
読むことに関する思考力・判断力・表現力が特に優れていました。これは、日々の読書活動の中で、目的に応じて、文章を結び付けながら読むことを大切にしてきた成果だと考えられます。情報の扱いに関する問題に少し弱さが見られました。

○算数科の結果より(概要)
変化と関係に関する思考力・判断力・表現力が特に優れていました。これは、数の見方や考え方を児童同士が言語で伝え合う「対話を重視した授業」に取り組んだことが結果につながったと考えられます。五角形の面積を工夫して解く問題に少し弱さが見られました。

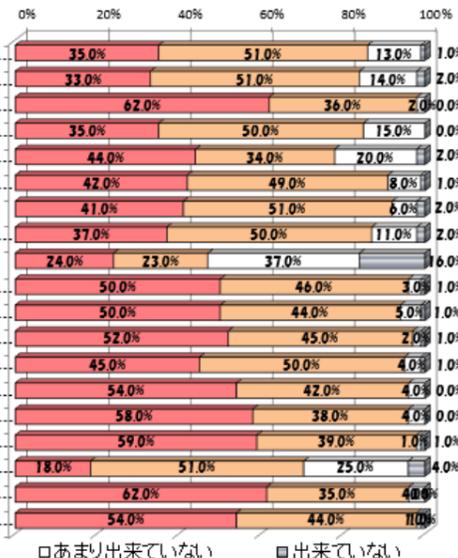
○理科の結果より(概要)
エネルギーを柱とする領域の知識・技能が特に優れていました。これは、電流がつくる磁力について「実験を通して性質を見出す授業」に取り組んだことが結果につながったと考えられます。ヘチマの花のつくりや受粉に関する問題に少し弱さが見られました。

○児童質問紙より
・「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」という質問に対し、「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と答えた本校の児童は約98%で、京都府や全国の値と比べると約6%上回っていました。担任を中心に学校全体で児童の自己存在感を高める取組を大切にしてきたことで、児童一人一人の自己存在感が育っているのだと思います。
・「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問に対し、「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と答えた本校の児童は100%でこちらも全国の値を大きく上回っていました。本校が継続して取り組んでいるたわわり活動で、6年生がリーダーとして、グループをまとめることで、人の役に立つよさを児童が実感しているからだと思います。
・「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれぐらいありますか」という質問に対し、「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と答えた児童は、約98%で、こちらも全国や京都府の値を上回っていました。安定した学校生活や家庭生活が児童一人一人に幸福感を与えているのだと思います。
・「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という質問に対し、「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と答えた児童は、約93%で、全国や京都府の値より約10%上回っていました。これは、日々の地域の方々の地域をよりよくしようと取り組まれている姿を児童が実際に目にしたり、一緒に体験したりすることで、地域に対する愛情が形成されている証だと思います

○全体を通した本校の成果と課題
これまで本校では、「確かな学力を身に付け、育てたい資質・能力の育成を目指したカリキュラムデザイン～子どもに『3Motto』を育てるためにゴールを明確にした授業改善～」という研究主題のもと、各教科で学習し身に付けた力を生活科や総合的な学習で発揮できるよう取組を進めてきました。その成果が確かな学力として表れてきました。また、今年度より研究の教科を「特別の教科 道徳」とし、児童が様々な課題を自分事として真剣に考え、友達や自己との対話を通して、自己を見つめることを大切にしています。これは、現在の教育で求められている「主体的・対話的で深い学び」の実践そのものです。しかし、本校の課題は、依然として「話す力・聞く力」の弱さです。引き続き、自分の思いや考えを聞き手に伝わるように筋道立てて話す力や、話し手の伝えたいことを中心を的確にとらえながら聞く力の育成を目指した授業改善に取り組んでいきます。また、児童一人一人の基礎基本の定着も課題です。計算力の課題に対しては、繰り返す行の反復練習が大切です。反復練習を通して、「やればできる」という自信を得ることができるよう、毎時間の授業や毎日の家庭学習を大切に積み上げていく必要があります。確かな学力が身につくよう今後も学校と家庭が協力し合って、子どもたちの学習を支えていきたいと考えています。

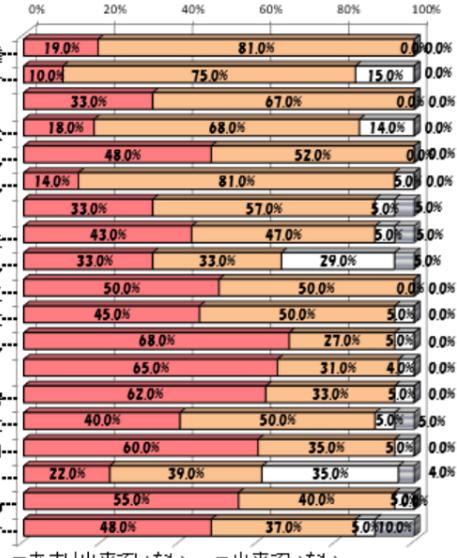
令和7年度 第1回 保護者

1. お子さんは、授業や家庭学習などにおいて、自ら進んで取り組んでいます。
2. お子さんは、人の話をよく聞いて、自分の考えや思いを伝えようとしています。
3. お子さんは、自分や友達、家族や周りの人を大切にしています。
4. お子さんは、友達や家族、地域の人など、周りの人から助けを求めようとしています。
5. お子さんは、外遊びやスポーツなど、進んで運動しています。
6. お子さんは、早寝・早起き・朝ごはんなど、規則正しい生活を送っています。
7. お子さんは、授業内容が分かると言っています。
8. お子さんは、粘り強く最後まで学習や活動に取り組んでいます。
9. お子さんは、学校や家で読書をしています。
10. お子さんは、自分の役割や当番(掃除・給食・日直)を最後まで責任を持って取り組んでいます。
11. お子さんは、友達や家族の話をよく聞いて、温かく支え合っています。
12. お子さんは、善悪などを自分で考えて、きまりやマナーを守っています。
13. お子さんは、安全に気をつけ、行動することができています。
14. お子さんとは、学校(友達・学習・行事など)のことをよく話しています。
15. 学校からの情報発信(学校・学年・学級だより、ホームページ等)をよく読んでいます。
16. 必要に応じて学校や担任と連絡をとっています。
17. 学校行事やPTA、地域の活動に参加しようとしています。
18. 学年の担任2名が学年全体に関わることで、お子さんの学習や生活に支障がでる心配がなくなりました。
19. 教科担任の学習を受けることで、お子さんは学習に対して興味・関心が高まりました。



令和7年度 第1回 教職員

1. 子どもたちは、授業や家庭学習などにおいて、自ら進んで取り組んでいます。
2. 子どもたちは、人の話をよく聞いて、自分の思いや考えを伝えようとしています。
3. 子どもたちは、自分や友達、家族を大切にしています。
4. 子どもたちは、まわりの人に自分から挨拶し、必要に応じて助けを求めようとしています。
5. 子どもたちは、外遊びやスポーツなど、進んで運動しています。
6. 子どもたちは、早寝・早起き・朝ごはんなど、規則正しい生活を送っています。
7. 授業内容がよく分かるように授業展開を工夫しています。
8. 粘り強く最後まで学習や活動に取り組めるように工夫しています。
9. 学校や家で読書するように工夫したり働きかけたりしています。
10. 自分の役割や当番を、最後まで取り組めるように工夫しています。
11. 互いのよさやがんばりを認め、温かく支え合う集団を作っています。
12. 善悪などを考えて、学校のきまりを守るように指導しています。
13. 安全に気をつけて行動するように指導しています。
14. 保護者や子どもたちの願いや思いを把握するよう努めています。
15. 学校からの情報発信は、分かりやすく適切なものを行っています。
16. 必要に応じて家庭と連絡をとったり家庭訪問をしたりしています。
17. 学校行事(土曜登校など)やPTA、地域の活動に参加しようとしています。
18. 学年の担任2名が学年全体に関わることで、子どもたちの学習や生活に支障がでる心配がなくなりました。
19. 教科担任の学習を通して、子どもたちの学習に対する興味・関心が高まりました。



☆保護者・教職員アンケート結果より

児童の回答と差が見られたのは、「4. 周りの人たちに自分から気持ちよく挨拶ができる」です。児童 97.0%に対して、保護者の皆様 85.0%、教職員 86.0%となっています。挨拶は、人間関係を形成するための第一歩です。自分から人間関係を広げ、多くの人たちと関わることができる力を育成するために、引き続き、学級や学年、児童会活動を中心に挨拶の大切さを学校全体で考えます。そして、豊かな人間関係を形成することができる力、つまり本校で育成したい資質・能力の一つである『人間力』を保護者の皆様と共に育てていきたいと思ひます。

保護者アンケートの「学年の担任2名が学年全体に関わることで、安心して学校生活を送ることができている」に関して、保護者の皆様の 97.0%が「できている・おおむねできている」と回答していただきました。引き続き、学級づくりを基盤に、学年全体を2名の担任で見守り、支援、指導することを大切にしていきます。

☆保護者アンケート記述欄より

- 紙面の都合上、保護者の皆様のご意見を抜粋・集約し、紹介します。
- いつも子供達が安心して学校に通う事が出来ているのが何より嬉しいです。お友達や先生方、地域の方、みなさんのあたたかな声掛けが、そういう学校を作って下さっているのだなど感謝しています。ありがとうございます。
- 先生方も連携も取りやすく、安心して通わす事ができています。
- 校長先生のリーダーシップの下、素晴らしい先生達がおられます。このままの教育を進めてください。
- 集団登校の日時がわかりにくく、一緒に行くお友達も混乱されていました。1年間の予定を親にいただけると確認しやすいです。今回はファイルに書いてある日と実際の違う日がありました。混乱なく開始できるようなお願いしたいです。
- 学校のご都合もあるとは思いますが、出来れば早下校な時などはもう少し早めに教えていただけますと幸いです。
- ホームページが今年度は学校の様子でひとくくりになっているので、各学年で分けてもらった方が、ホームページが探しやすいです。
- おたよりなどがもう紙で配られない(スマホのみで配信)なので、スマホで見やすいようテキスト簡条書きなどスマホ最適のレイアウトにした方が見やすいと思います。今 A4 のおたよりを小さいスマホ画面で見るとかなり見づらいです。

☆今後の方向性と取組

- 全体的に落ち着いて学ぶ様子が見られます。今後も「言語を通じた人やものとの関わり合い」「対話のある協働活動」をベースにした授業づくりを大切に、言語活動の充実を図る学習環境、安心して自己開示ができる学習集団を目指し、取り組みます。
- 10分程度の「朝学習」を今後も継続し、基礎基本の定着、落ち着いて読書や学習に取り組む姿勢や習慣の形成等をめざして取り組んでいきます。また、協働学習の充実や探究活動に GIGA 端末も一層活用していきます。
- 「読書」については、読書タイムや図書室の時間の確保、学習活動で活用する機会を設ける等、日常の取組を継続していきます。学校司書や図書館教育に携わる保護者の方々・外部団体等とも連携し、本への興味・関心を広げていけるよう取組や環境整備を進めてまいります。ご家庭におかれましても、読書習慣形成に向けた働きかけをお願いします。
- 「規則正しい生活習慣の形成」は、学校生活の基盤であり、継続した働きかけが大切です。今後も「早寝・早起き・朝ごはん」を大切にしながら 8時～8時20分に登校できるようご協力お願いいたします。

Forms でのアンケート収集へのご協力、ありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。